

〈豊見城小学校〉

新入生保護者説明会

特別支援教育 について

令和4年 2月8日（火）

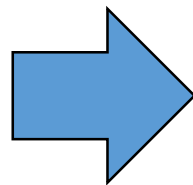


平成１９年４月
学校教育法の一部改正



特別支援教育がスタート

特殊教育



特別支援教育

- ・盲学校
- ・聾学校
- ・養護学校

<小学校・中学校>

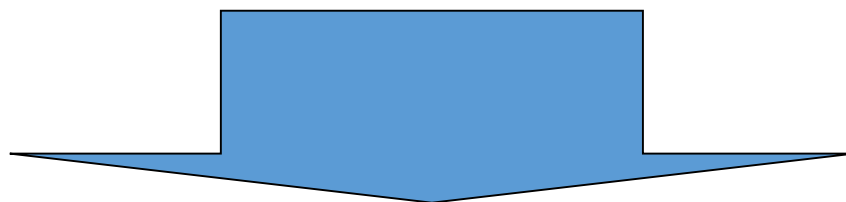
- ・特殊学級

<小学校・中学校>

- ・通常の学級

支援対象の拡大

「特別支援教育」



障害の有無にかかわらず、一人ひとりのちがいを理解し、通常学級にいる子どもたちにも適切な支援をしようという考え方。

本校の特別な支援

特別支援学級に在籍し、個に合わせた指導を必要とする児童

知的な発達、情緒・自閉、肢体、言語・聴覚機能に困難のある児童等

**支援：なかよし、ひまわり、スマイル、ラッキー、ピース、
チャレンジ、ハッピー、ことばの教室、通常学級、
支援員の配置**

※令和3年度

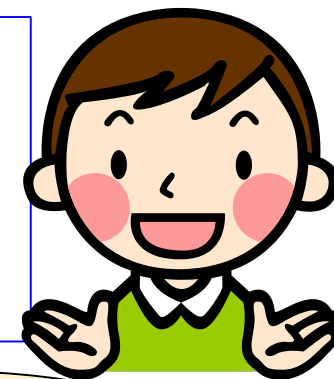
通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童

LD、ADHD、自閉症スペクトラムなど支援の必要な児童

**支援：通常学級、あすなろ・わかたけ教室での通級指導、
支援員の配置**



特別な支援を必要とする子はどのクラスにもいます (6.5%)



例えば・・・



ちょっとしたことで
カッとなる

気が散りやすい

自分の話したい
ことばかり話して
会話にならない

不器用

けんかが多い



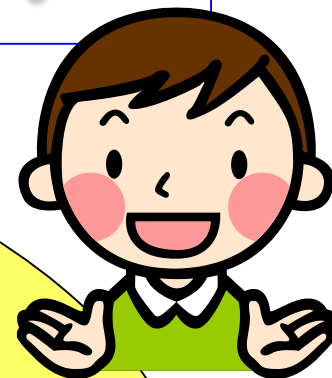
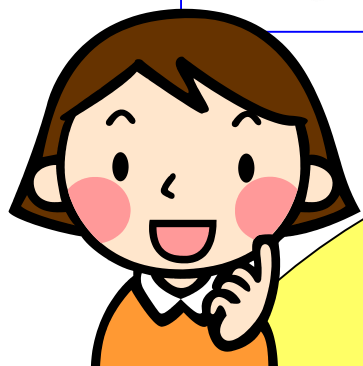
直ぐ席を立つ

一人遊びが多い
友達ができにくい

字を書くのに
時間がかかる

等

支援・配慮のポイント



子ども達が
どこで困っているのか
「気づく」こと

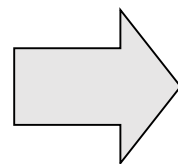


豊見城小学校の特別支援教育

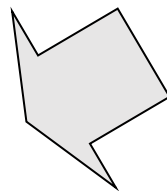
児童の実態把握

校内委員会

ケース会議



支援



コーディネーター

連携

担任

保護者

資料

傾向を知るためのチェックリスト

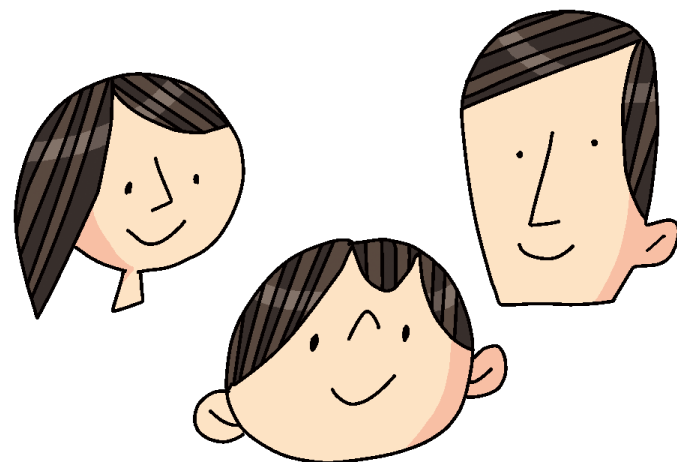
※ このチェックリストは診断のためのチェックではありません。子どもの傾向や特性を知り、適切な対応を考えるためのものです。家庭や学校での子どもの様子から、あてはまるものをチェックしてください。

□あてはまる △わからない ×あてはまらない

傾向	観点	内容	□△×
LD傾向	聞く	聞き間違いがよくある	
		個別に言われると聞き取れるが、集団では難しいことが多い	
		指示したことの理解が難しいことがある	
	話す	言葉につまることがよくある	
		思いつくままに話し、わかりやすく話すことが苦手	
	読む	文中の語句を抜かしたり、同じ行をくり返し読んでしまうことがある	
		音読がとてもしどい	
	書く	流暢で読みにくい字を書く	
		句読点が抜けたり、正しく句読点を打つことができない	
		作文や日記がとてもしどい、きまったパターンしか書けない	
ADHD傾向	計算する	学習した数の意味や表し方についての理解が難しい	
		とても簡単な計算も理解が難しい	
		計算するのにとても時間がかかる	
	推論する	学習した「長さ」や「重さ」などを比較をすることが難しい	
		学習した算数の図形を描くことがとてもしどい	
		間違いがあったり、予想外の考えをすることがある	
自閉スペクトラム傾向	社会性	友達と仲良くしたい気持ちはあるが、友達関係がうまく築けない	
		友達がそばにいても、一人遊びがよくある	
		周りの人が困るようなことも、気にせずに言ってしまう	
	コミュニケーション	決まりにこだわり過ぎて、友達のことをよく理解したりする	
		会話が一方的になったり、やりとりが読めないことが多い	
		冗談や皮肉がわからず、言われたままの言葉を受けとってしまう	
	興味	会話の仕方が形式的で単調な声の調子で話したり、間がとれない	
		きまった興味に熱中しすぎることもある（昆虫、読書、ゲーム、車など）	
		予定や時間割などの急な変更や変化をいやがったり、怒ることがよくある	
		とても得意なことがある反面、極端に苦手なことがある	

※チェックの○が少なくても、家庭や学校で子ども自身が困っている場合は相談してください。

チェックの○が少なくても
子どもが困っている場合は
学級担任に相談してください



早く気づいて、支援することが
とても大切です

特別な支援を受けるためには、毎年6月までに学級担任に申し出ることで、豊見城市の教育支援委員会で特別な支援の必要性を判断します。

豊見城小学校

少しでも気になることがあれば
学級担任や
特別支援教育コーディネーター
にご相談ください